

街なか道路

空地

植栽

建物

道路

境界

パブリック

コモン

パーソナル

ゾーン 30 で安心と賑わいを



仕組み

つながり

風景

営み

愛着

安心

来訪



塩尻の中心市街地には、時を経るなかでさまざまな動線が計画され、その結果、細い道が縦横無尽に伸びています。こうした細道は住民の日常的動線、そして大通りは通過交通として主に利用されています。しかし、主に徒歩での利用を想定した細道さえ、近道として自動車を利用するケースが多く見られます。そこで、上記の囲われた範囲を「ゾーン30」に定める提案をします。それによって、歩行者や自転車が安全に通行できる環境を確保するとともに、必要に応じてそのほかの安全対策を組みあわせ、ゾーン内での自動車の走行速度や通り抜けを抑制します。また、大通りでありながら交通量の少ない駅前には、自動車での通過を禁止して歩行者らに広場として開放し、賑わいの拠点となることを狙います。

※ゾーン30 自動車事故抑制のため、市街地の住宅街など生活道路が密集する区域を指定し、その区域での最高速度を時速30キロに制限する交通規制。